

地域医療体制の整備



南魚沼市民病院

医療再編

魚沼医療圏は、県内で最も面積が広く、人口当たりの医師数は低位にありました。そのため救命救急・高度医療については、中越医療圏など、他の地域に依存せざるを得ない状況にありました。

このような状況を解決するため、救命救急・高度医療を担う魚沼基幹病院の開院を中心とする魚沼圏域の医療再編が計画されました。

南魚沼市民病院は、これまで市立病院が担ってきた地域医療に加え、魚沼基幹病院の後方支援病院としての機能も担います。医療再編に伴う機能分担と「うおぬま・米(まい)ねっと」による情報共有により、魚沼圏域での地域完結型の医療体制を構築し、地域全体の医療水準の向上を推進します。



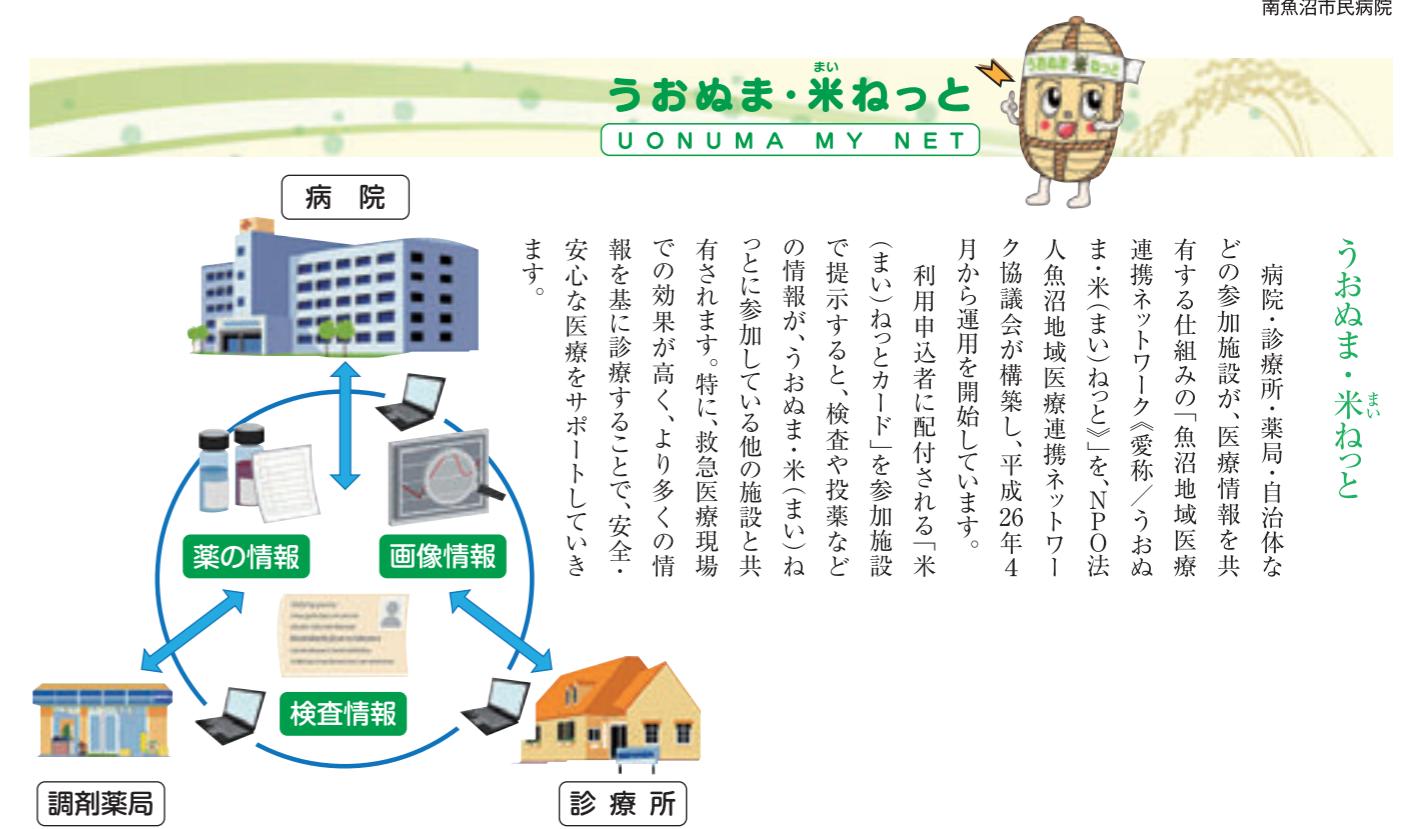
新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター

新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

(略称: 新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院)

Regional Medical System Provision

The Uonuma medical area is the largest in Niigata prefecture and has a low physician per population ratio. As a result, critical and intensive medical care have to depend on the assistance of other regions up to now. To improve this situation, restructuring of the medical care in the Uonuma district was planned, focusing on the opening of the Uonuma Kikan Hospital which can handle critical and intensive medical care. Minamiuonuma City General Hospital handling regional medical care as the city-run hospital, it will also provide logistical support to Uonuma Kikan Hospital. Function sharing through the restructuring of medical care, and information by the "Uonuma/My Net," a regional medical system has been constructed to improve this medical care system for this area.



うおぬま・米(まい)
UONUMA MY NET



病院・診療所・薬局・自治体などの参加施設が、医療情報を共有する仕組みの「魚沼地域医療連携ネットワーク(愛称／うおぬま・米(まい)ねっと)」を、NPO法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会が構築し、平成26年4月から運用を開始しています。

利用申込者に配付される「米(まい)ねっとカード」を参加施設で提示すると、検査や投薬などの情報が、うおぬま・米(まい)ねっとに参加している他の施設と共に有されます。特に、救急医療現場での効果が高く、より多くの情報に基づき診療することで、安全安心な医療をサポートしていくます。